

研究班番号【 01 】
日本が抱える臓器提供に関する問題

保健班:神藤 圭、仲 健太、松村 咲季

Abstract

The purpose of this study is to find a way to increase the number of organ donors in Japan. The survey showed the introduction of “OPTING OUT” was not expected to solve the problem, but it was concluded that reforming the educational curriculum, such as providing opportunities to learn about organ transplantation, could solve the problem.

要約

本研究の目的は、日本の臓器提供者数を増やす方法を見つけることである。調査によってオプティング・アウトの導入による解決は見込めなかったが、臓器移植のことを知る機会を設けるなどの教育課程の改革によって解決が可能と結論付けられた。

1.はじめに

近年日本の臓器提供者数は海外と比較して少ないことが問題視されている。例えば、人口100万人あたりの提供者数を見てみるとアメリカでは41.88人、スペインでは40.20人の提供者がいる。しかし日本の数値を見てみると0.61人となっており、一人にすら満たない状況となっている。このように世界的に見てみると日本の臓器提供の水準が低いことがはっきりと分かる。そこで、日本の臓器提供者数を増やす効果方法を見つけることを目的とした。

2.研究手法

高津高校2年生を対象にアンケートを実施した。

《調査1》

スペインなどの、比較的臓器移植件数の多い国はオプティング・アウトという制度を導入していることを知った。そこで、この制度の導入が日本の提供者数の増加に繋がると考え、日本が現在採用している臓器提供の制度(オプティング・イン)とこのオプティング・アウトについてのアンケートを実施した。

《調査2》

海外では臓器移植に関する教育が充実していることを知った。それらを参考にして脳死と臓器移植に関する学習用スライドを作成した。

- ①臓器移植に関する意識調査。
- ②学習用スライドを見せよう。
- ③改めて臓器移植に関する意識調査。

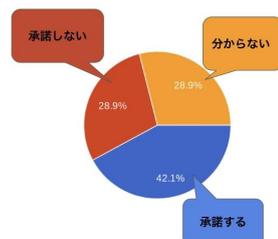
3. 結果

《調査1》

オプティング・アウトの導入に関しては反対派の意見の方が多かった。

《調査1》の結果①

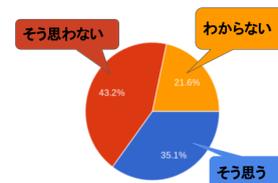
Q あなたが遺族の立場になった時、本人の意思が不明の場合、臓器の提供を承諾しますか？



《調査1》の結果②

OPTING OUTについて

Q 本人の意思が示されていない時でも臓器提供は行われるべきだと思いますか？

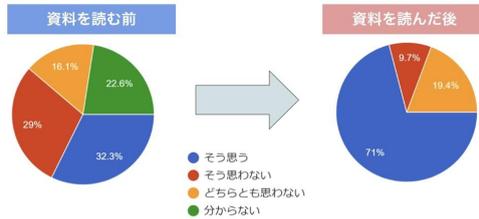


《調査2》

スライドを見てもらう前後で、脳死を人の死と考える意見が多くなった。また、自分が脳死状態になった場合、そして自分の家族が脳死状態になった時に臓器の提供を承諾するという意見も、アンケート後で顕著に多くなった。

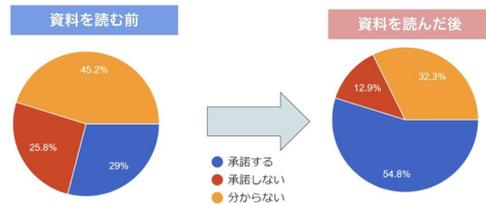
《調査2》の結果①

Q 脳死は人の死と同じだと思いますか



《調査2》の結果②

Q あなたが遺族の立場になった時、本人の意思が不明の場合、臓器の提供を承諾しますか？



4. 考察

《調査1》より海外の臓器提供者数が多い国が採用している制度(オプティン・アウト)について、「本人の意思が示されていない時でも臓器提供は行われるべきだと思うか」という質問に対して「そう思わない」と否定的な結果が多く、導入は難しいと考えられる。《調査2》より、特に臓器移植の意思表示方法、家族が脳死状態になり、臓器移植の決定権を持った時臓器の提供を承諾するか、の2つの質問に対して「分からない」という回答が著しく多く、知識不足により判断できない状態にあると考えられる。

5. 結論

以上のことを踏まえて行った調査から臓器移植に対する日本人の知識が著しく不足していることが課題としてあげられた。また、臓器移植に関する学習を経験することのない状況もまた、課題であることが分かった。この課題の解決には臓器移植に関することを教育の一環として取り込むことが日本の臓器提供者数を増加させる上で、有効であると考えられる。

6. 参考文献ならびに参考Webページ

公益社団法人JOT(2022年)『日本臓器移植ネットワーク』<https://www.jotnw.or.jp>

<https://www.jotnw.or.jp/kids/basic/transplant01.html>(参照2023-3-05)

厚生労働省ホームページ(2022年)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/zouki_ishoku/gaiyo.html
(参照2023-3-05)